Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

テュートリアル課題　頭が痛い田中さん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/29117

2008年度　　Block. 5

課　題　　No. 3

課題名：頭が痛い田中さん

東京女子医科大学
7361
'08.4.18
学事部

所で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい

2008-B5-T-3
頭が痛い田中さん

シート 1

6 月の上旬、40 歳男性の田中さんは 3 日前から咽頭の痛み、鼻閉感があり、会社近くの診療所を受診しました。風邪と診断され、セフェム系の抗生物質を処方されました。

［提示資料］なし

シート 2

次第に田中さんには頭痛と吐き気も出てきました。前回の診療所を再度受診したところ血液検査、鼻咽頭の培養検査を施行され、マクロライド系の抗生物質を処方されました。しかし田中さんの症状は良くなりません。田中さんは診療所に電話をしました。

医師：「前回の血液検査で白血球数が 19000 /μl と高く、炎症のマーカー、CRP も 24.0 mg/dl と高値です。紹介状をお書きします。」

紹介状をもらい、大学病院受診の予約を取ろうとしていたら、頭痛と吐き気が激しくなってきました。家族が救急車を呼び、近くの救急病院に運び込まれました。田中さんは 3 年前に特発性血小板減少性紫斑病になり、脾臓を摘出されていました。

［提示資料］なし

シート 3

救急病院に着き、救命救急科の医師が診察したところ、田中さんの意識は朦朧としており、脈拍 130/分、血圧 120/80mmHg、体温 40.3 ℃で、項部硬直を認めました。

［提示資料］なし

シート 4

頭部 CT では異常は認められませんでした。主治医は腰椎穿刺を施行しました。髄液は混濁しており、グラム染色で写真のような菌が認められました。併せて血液培養も行われ、セフォタキシム 1 g 1 日 2 回点滴静注が田中さんに投与されました。

シート５

田中さんの熱は下がりません。主治医は感染症科にコンサルテーションを行いました。髄液と血液から血清型 23F の肺炎球菌が検出されました。主治医は最小発育阻止濃度（MIC）の結果から抗生物質をパニペネム １ｇ１日４回に変更するよう指示されました。その後、解熱し、炎症所見も正常化しました。

その後、主治医は田中さんに、今回の肺炎球菌について説明を行いました。主治医役と患者役に分かれて、ロールプレイをしてみましょう。

［提示資料］

資料３：肺炎球菌に対する感受性試験成績。

資料４：主治医の田中さんへの説明文書。

シート６

主治医：田中さんは脾臓を取っていますので、肺炎球菌に対する抵抗力が落ちています。今後、肺炎球菌に感染しないようワクチンを打ちましょう。

田中さん：前の病院ではそのような説明はなかったのですが。

主治医：日本ではまだ、ワクチンに対する認識が十分ではありませんし、毛嫌いする方も少なくありませんが、田中さんには肺炎球菌ワクチンが必須です。

田中さんは主治医の説明に納得して肺炎球菌ワクチン接種を受けました。田中さんはその後肺炎球菌感染症にかかることなく、今も元気に仕事を続けています。また、診療所に風邪症状でかかって抗生物質を処方されると、必ず医師に説明を求めるようになりました。

［提出資料］
資料５：肺炎球菌ワクチンのインフォームドコンセント例。